

【 熱伝導接着剤 使用方法例 】

<1>



添付のヘラを使用し、**数分間**、**A剤、B剤**を十分に練り込んで下さい。
(混合比は、1:1)

画像製品は、「J-Thermo14C」です。
別製品「J-Thermo07C」とは同色ですが、
「J-Thermo03M」製品は白色です。

<5>-2



<2>



粘土状になるまで練りこんで
下さい。

<5>-3



<3>



ヘラでまんべんなく、塗布して
下さい。

<6>



**被着体を固定していただいた後、
上から、2~3分、加圧(荷重)
して、よく接着剤をなじませて
下さい。**

(木工用ボンドで接着する時に固定
させることをイメージしていただければ
分かりやすいと思います。)

<4>



塗布完了図。

<7>



設置完了です。

半硬化して、落下、ズレ等がない
状態になりましたら、加熱して
下さい。

(問題がなく可能であれば、電源を入れて
いただく等、熱が加われば、硬化時間も
早くなり、硬化強度も高まります。)

<5>-1



**被着体を少し捻る様に圧力をかけて
接着剤になじませて下さい。
(被着体のすき間から、接着剤が少し
はみ出る位を目安にして下さい。)**

なじませていただくことにより、
接着剤中の気泡が抜け、より密着度が
高まります。

接着剤を薄く、全面に塗布することとなり、
熱抵抗を低減でき、ひいては特性を
上げることができます。

**※接着剤を十分に練り込むこと【<1>】、
加圧(荷重)し、十分になじませること【<5>-1~<6>】
が重要なポイントです。**